



高輪だより

令和6年度3月号

港区立高輪幼稚園

園長 佐藤 幸子

わくわく ぼかぼか
みんなえがおの
たかなわようちえん

今までを振り返りながら新しい生活へ

園長 佐藤 幸子

明日からは、いよいよ3月です。今年度も残すところあと僅かとなりました。

毎朝、門のところで挨拶をしていると、大事そうに空き箱をもって来たり、幼稚園で遊んだことをきっかけに、家で作ったものを見せてくれたり、拾った木の実を大切そうに見せてくれたり幼稚園で楽しんでいることが、家庭や登降園の道々につながっていることが感じられます。

すみれ組は、4月から小学生です。少し前から、すみれ組がうめ組に誕生会の司会や当番の仕方を教えてくれています。うめ組の子どもたちは、ドキドキする気持ちと、すみれさんや友達がいるから大丈夫！という気持ちが混ざりながら、張り切っています。

すみれ組にとって自分たちのしてきたことを伝えることは、誇らしく、とてもうれしいことです。相手を気に掛けながら伝えようという気持ちが溢れています。当番はついつい、自分でやってしまう姿も見られますが、「あっ！そうだった」と気付いて「こうするんだよ」と声を掛けて促したり一緒にしたりしています。いつもしてきたことだからこそ、その子なりに大切にしているポイントもうかがえます。

うさぎ組も、4月からうさぎ組になる友達と一緒に遊びながら幼稚園の楽しさを伝えてくれています。ひよこさんに優しく関わる姿を見て大きくなったなと感じます。

この時期は、子どもたちが自分の成長を喜んだり、お世話になった人たちに感謝の気持ちをもったりと様々な気持ちを味わう機会がたくさんあります。また、一緒に生活してきた友達とのきずなも深まり、友達と一緒に楽しくなっています。幼稚園の一日一日を大切にしていきたいです。



一緒に当番をしよう

ひよこさん一緒に遊ぼう